

社内報 11月号

防水売上の変化

今年度の防水売上は、コロナの影響があり、前年をかなり下回って推移しているのですが、その中身を見ると約 50%を塩ビシート防水が占めています。何年か前に、FRP防水の売上を塩ビシート防水が、抜いたのですが、今年はウレタン系防水が FRP 防水に近づいてきています。FRP 防水に関しては、木造系の新築着工件数の減少に伴い新築向けが徐々に減少し、10 年メンテナンスの既築向け防水でカバーはしていましたが、すでに既築向けの対象物件数も減少に転じており、今後もなかなか増加は見込めない状況です。安売りで成長しているパワービルダーもありますが、とても安い単価で行われています。塩ビシート防水は、もう 10 年以上前になります。東京で、人工出しのような形でスタートし、木造系FRP業者が、鉄骨系塩ビシートに参入していくので、なかなか材料メーカーや住宅メーカーも仕事をくれるわけではなく、苦労しながら実績や技術を高めていきました。今では、防水事業の主力となり、明らかに住宅メーカーや材料メーカーの姿勢も変わりました。ここまで来るには、かなり時間が掛かっており、早く塩ビシート防水を始めておいてよかったというのが実感です。やれマニュアルが欲しいとか、教育して欲しいとか、言いますが、何もない中でゼロからスタートして、現状があるわけで、熱意があれば、いくらでも成長でき勉強できる環境はあると思います。ちょっと自分が動いて調べたりすれば、何でもできます。こうしたことは、他のいろいろな場面でも発生しています。チャレンジし現状を打破していく人、教育して欲しいといって何もしない人、今も昔も変わらず同じことが繰り返されているように思います。

木炭売上踏ん張る

今年度の木炭売上は、10 月末時点で、ほぼ前年対比で 100%のところまで来ました。これは、よく健闘している数字ではないでしょうか。羽蟻シーズンは、コロナの非常事態宣言と重なり、駆除工事が減少する中で、営業社員が、1軒1軒提案していった結果だと思います。

建築イベント好調に

10 月は、住設メーカー様のショールームを使ったデアールのリフォームイベントや JA さん主催のリフォームイベントや農協祭などが、数多く催されました。今まで、自粛気味だった営業も通常ペースに戻り

つつあります。来客数も、例年程度は確保しており、今までのマイナスを取り戻すというところまではいきませんが、ほぼ月々の受注ペースは、例年ペースに戻りつつあります。まだまだ、感染者数も多い状態が継続しており、経済的にも不安要素が多いわけですが、活発に活動して通常ペースを維持したいところです。建設事業部も、昨年の消費税増税前の好調の反動とコロナ禍で、受注に苦労していましたが、ようやく上向きできました。

岐阜営業所工事進む

11 月末の竣工に向けて、足場もとれ外構と内装仕上げが急ピッチで進められています。



(コラム)

人の採用や評価に対する考え方

当社の現在の平均勤続年数は、10.8 年になりました。20 年ぐらい前は、5 年ぐらいでしたから、かなり長くなりました。20 歳で会社に入り、全員が 60 歳まで働き、常に採用数が一定であれば、平均勤続年数は 20 年になるのでしょうか。日本の大企業には、このぐらいの平均勤続年数の会社が多くあります。平均勤続年数が、20 年を越えている企業は、社員数が減少に転じているか新規採用のない、かなり硬直した組織と言えましょう。当社の 10.8 年というのは、退職者がなく、20 人新規採用したら、ほぼ変わらずという数字ですので、ほぼこのぐらいの平均勤続年数で頭打ちになるのが適当なところかもしれません。当社は、長く勤めて欲しいと考えていますが、それはあくまで副次的な結果であり、まずは会社が存続していくことが重要です。そのためには優秀な社員が、厳しい環境下でも、結果を出し続けることが、前提になります。そのためには、新陳代謝や淘汰されることもあって当然ではないでしょうか。採用時に吟味し、会社の厳しい環境で立派に教育され、そうした社員を多く発生させないよう努めることは大切で、それが、会社の業績や成長性に密接に結びつくと思いますが、ゼロにすることはできないでしょう。ゼロになったら、どこかおかしく、大企業病や既得権益にしがみつくような構造になってしまっ

ているのだと思います。誰でもではなく、選ばれた人、ふさわしい人が、働いているというのが正しい形でしょう。現在、新卒採用と中途採用の両方を行っています。これは今後も継続です。現在、中途採用もかなり吟味しており、以前は中途採用者に退職率が高いイメージがありましたが、現状はほぼ変わらない印象です。基本的に中途採用は、職場を限定した採用が多いので、一般職採用で行っており、新卒採用は、大卒高卒率は総合職、高卒は一般職採用です。入社後は、中途採用も新卒採用も仕事に対する実力、結果で評価されます。新卒採用は、SPI 試験とほぼ同じ目的の当社独自の試験を行い、頭脳の明晰さを調べ、一定以下の人は採用しません。一般職から総合職に登用する試験には、新卒採用と同等の試験も行っており、この試験で、一定以上の成績じゃないと登用されません。その人は、新卒採用で総合職に応募しても採用されないのと同じことです。総合職は、頭脳で、仕事をすることを前提にしており、理解力、説明力、多くの煩雑なことを素早く正確に処理する能力が必要なもので、一定以上のレベルが求められるのは当然のことと考えます。中途採用も今後も積極的に行い、活性化、実力向上を図っていきたくと考えていますが、中途採用をする場合は、当然前職までの経歴、実力、資格などをよく吟味します。職を転々と変わっている人を採用することは、ありません。前職を退職した理由や応募の理由が、まず重要視され、年齢にもよりますが、即戦力として貢献してくれるかがカギになります。即戦力を期待しつつも中途採用の方も長く働いてくれるかが大きな要素です。新卒の方も、即戦力を期待したいところですが、現実的に無理なわけですが、1年目はまだしも、2年目からは、会社に貢献してもらわないと中途採用を行った方がいいかもしれません。現実、部門を預かる部門長は、部門損益を考え中途採用の即戦力を欲しがります。感覚的に、プロ野球のドラフトと FA に似ています。両方とも必要で、両方とも上手に行わないといけないのだと思います。また、会社への貢献は、数字に表れてきますので、数字にこだわっていないといけません。社内の評価を高めるには、お客様や社外からの評価が高まっていくことが必要だと思います。営業社員は、お客様の評価が数字に直結しやすいのでわかりやすいと思いますが、工務や事務の人も、お客様の評価、取引

先の評価は、わかるものですし、いろいろな業績資料の数字にでできます。新卒の社員が、社外にでると大変苦勞することは容易に理解できますが、これは、社内では厳しいことを言われずに甘やかされていても、社外では役にたたないということが、如実に明確になるからでしょう。誰もが経

験していることで、ただ、それを乗り越えないと、会社に貢献できるにはなりません。外部の人は、はっきり「もつとちゃんとしたわかる人をよこしてくれ。」と言いますからね。悔しいことです。1年目から外に出て、叩かれて、その前に社内でも厳しく教育されて叩かれて、実力を養っていくこと

が必要で、いつまでもぬるま湯にたかっついては、ゆであがってしまいます。評価は、自分ではなく人がするもので、常に人の評価が正しいのです。一人の評価だけで、不満なら何人かに聞いてみれば、いいと思いますが、おそらく大差がないでしょう。

施工事例紹介

- 施工場所 大阪府岸和田市
- 工事名 大規模修繕工事
- 工事内容 足場仮設、外壁下地補修、シーリング、塗装、防水、その他工事



施工前



施工後

- 担当 大阪事業部 阪神営業所 森 雅幸

外壁タイルが既に廃番となっており、限られた在庫タイルを使用するため、タイル浮き部の貼替と樹脂注入の範囲を検討するのに時間を要しました。また、バルコニー床面がレンガタイル貼となっている為、全面しごきの上ウレタン塗膜防水、長尺シート貼と居住者様のバルコニー使用制限も多くかかりましたが、ご協力頂きスムーズに作業が進みました。その他、中庭を撤去後の駐輪場増設工事や、バルコニー鳥害対策工事等、工事内容も充実しており、今後も多様化する工事内容に対応できる様、改修技術を深めていきたいと思っております。

ちょっと一言

「名物 栗きんとん」

建設事業部 瑞穂通店
鈴木 悠太



皆様お疲れ様です。建設事業部瑞穂通店 鈴木です。

肌寒く感じ始める時期になってきました。ニュースでは、冬にコロナウイルスやインフルエンザが同時に流行するとの話も聞きます。年末に向けて仕事や家庭も忙しくなってくる頃かと思えますのでそんな時に発症してしまったら大変ですので、できる限りの対策をとります。

秋ですので栗きんとんのお話をさせていただきます。岐阜県(中津川市、恵那市)の和菓子として想像される方もいればおせち料理に入っている栗の甘煮を想像される方もいらっしゃると思います。今回は和菓子のほうの栗きんとんのことをお伝えします。

栗きんとんは江戸時代に蒸した栗をすり鉢でつぶし、塩もしくは砂糖を入れ餅やご飯にまぶしたり、その残りをふきんを使って絞ったりして食べていたものが始まりとされています。明治の中頃に菓子屋によって商品化されたと伝えられているそうです。昔と変わらず現在でも使う材料は栗と砂糖だけです。材料はシンプルですが手間暇かけて素材本来のおいしさを堪能できます。工程もシンプルで栗を蒸して裏ごししたものに砂糖を加え火にかけ、それを1つ1つ丁寧に茶巾で絞り形を整えます。お店によって特殊な製法を用いたり、形が違ったりするものもあるそうです。

中津川市や恵那市には数多くの和菓子屋さんがあり食べ比べをすることができます。栗きんとんは発売期間が限られていてまして9月から12月末までです。あと2ヶ月ほどしかありません。栗きんとん以外にも栗きんつばや栗サブレなどもありますのでぜひ一度足を運んで味わってみてください。

入社社員紹介

- ★高橋 和希 東京事業部 東京西営業所 26歳
趣味:野球観戦、プロレス観戦
「前職は、人材派遣の営業に従事しておりました。建設業界は初めての経験となりますが、いち早く力になれるように日々精進して参ります。ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。」
- ★上野 昌彦 東京事業部 東京中央営業所 36歳
趣味:映画鑑賞、読書、スノーボード
資格:一級建築施工管理技士
「改修工事は未だ経験が浅いので、これから色々と経験を積んで貢献出来るよう頑張ります。」

★Happy News★

資格取得おめでとうございます

- ★住宅メンテナンス事業部 奈良営業所 各務さん
- ★法人事業部 水野部長
危険物取扱者(乙種4類)
- ★法人事業部 東海営業所 高野主任
毒劇物取扱者